

Life Style
VGP
2024

金賞

Bluetoothフロート型
イヤホン/左右独立型
(1万円以上2万円未満)

完全ワイヤレスイヤホン

VICTOR HA-NP50T

¥OPEN ▶投票 No.060



フックが短いから
耳への負担を軽減!

とにかく軽い!

ショートフック型で エアリーな着け心地

ビクターから登場した、オープンイヤー型完全ワイヤレスイヤホン「HA-NP50T」。最大の長は耳掛けフックが短いこと。オンリーワンのスタイルで耳当たりのよさを実現。軽量ボディに基本機能をハイレベルにまとめ上げた、注目すべき“ながら聴きイヤホン”だ。

文/野村ケンジ Kenji Nomura

低域の迫力十分! 音楽を存分に楽しめる

骨伝導に続く“ながら聴き”に向けたイヤホンとして、注目度を高めているのが、空気伝導方式を採用したオープンイヤー型と呼ばれるスタイルの完全ワイヤレスイヤホンだ。そのなかでも好評をもって受け入れられている製品のひとつがビクター「HA-NP50T」だ。

まず、装着性の良好さが好印象。オープンイヤー型完全ワイヤレスは基本的に耳掛け型のスタイルが多いが、「HA-NP50T」は本体の軽量さに加えて、耳に掛けるフック部分が短いのが最大の特長。耳と接触する部分が少ないのにも関わらず、質量バランスを取ることで、高いフィット感と耳当たりの気にならない快適さを両立し、長時間装着していてもほとんどストレスを感じない。また、イヤホン本体で最大9.5時間、ケースからの充電を含めると最大38時間というバッテリー持続時間を持ち合わせているので、一日中使い続けることも可能。通話用ノイズリダクション機能を採用したMEMSマイクや、2台の機器に同時接続できるマルチポイントにも対応しているため、テレワークなどでの利用にも向いている。

何よりも、バランスのよいサウンドが素晴らしい。オープンイヤー型完全ワイヤレスは構造的に低域の量感が不足しがちだが、「HA-NP50T」は新採用の16mm径ドライバーにより、十分なレベルの低域を確保。音楽を迫力たっぷりに楽しむことができる。好みに合わせて3つのサウンドモードが選べるのもありがたい。オープンイヤー

型の弱点である音漏れも少なく、扱いやすい製品に仕上がっている。ながら聴きイヤホンを探している人は、ぜひ試してみてください。

注目ポイント



音響のビクターが音づくり 豊かな低音とパワフルな音

新採用の16mmドライバーにより、オープンイヤー型ながらも豊かな低音とパワフルなサウンドを実現。さらに、指向性をコントロールすることで、音漏れの低減にも配慮している。ビクターの音響技術によるチューニングの妙技を感じさせる。

音と映像のズレを抑える低遅延モードを搭載。耳をふさがないから、動画やゲームを楽しみながら、友達や家族とコミュニケーションも取れる。

